

株主・投資家の皆様へ

第27期 中間期 2011年4月1日 ▶ 2011年9月30日

トランスコスモス通信



Your Global IT Partner.

あなたの、グローバル IT パートナーを目指して。

[経営の基本理念]

お客様の満足が大きさが我々の存在価値の大きさであり、
ひとりひとりの成長がその大きさと未来を創る。

① お客様企業へのコミットメント

- 常に世の中の技術動向を把握し、人と技術の融合により付加価値と品質の高いサービスを継続的に提供する。
- お客様に信頼される真のパートナーシップを構築する。

② 社員へのコミットメント

- 社員は無限の可能性を秘めた最大の資産であり、個人の成長に必要な教育支援を惜しまない。
- 機会は公平に与え、実績と能力によって適正な報酬と新たな成長の機会を提供する。

③ 社会・株主へのコミットメント

- グループの成長により株主価値を高めるとともに、社会の進歩に貢献する。

**trans
cosmos**
people & technology

トランスコスモス株式会社

証券コード: 9715

当第2四半期の取り組みについて

当社グループを取り巻く事業環境は、情報サービス市場では、依然としてIT投資への慎重姿勢が続いているものの、リスク管理、BCP(事業継続計画)などの観点から、企業のIT投資マインドは改善に向かいつつあります。デジタルマーケティング市場では、東日本大震災による広告自粛の影響は一部あるものの、2008年のリーマンショックで大きく落ち込んだ業界の回復や、スマートフォン、タブレット端末などの新デバイス、ソーシャルメディアなどを中心とした新たなマーケティング活動を模索する企業が増加しており、引き続き市場は拡大傾向にあります。このような状況のもと、当社グループは、新たな成長の土台を固めることを本年度スローガンに掲げ、企業ニーズをとらえたサービス販売の強化、再加速するグローバル化を見据えた海外展開の更なる強化などを重点的に取り組みました。

売上高

79,030百万円

営業利益

4,143百万円

純利益

2,363百万円

国内需要は回復、海外でも積極展開

国内では、企業の業務効率化を支援するビジネスプロセスアウトソーシングサービスや、需要の高いデジタルマーケティングサービスなどを中心に総じて受注は堅調に推移しました。また、海外では、アジア市場を中心とした強固なサービス体制基盤と日本品質を担保したサービス力を武器に、日系企業だけでなく、アジア現地企業、欧米企業などにもサービス提供を積極展開しました。

収益性は大きく改善

一方で、収益性改善への取り組みとして、引き続き不採算・低収益業務の見直しによる原価率の改善、間接業務の効率化・コスト適正化による販売費及び一般管理費の削減などを推し進めました。

今後の取り組みについて

今後のわが国経済は、欧米諸国の財政問題、世界経済を牽引してきた新興国における経済成長の減速懸念、歴史的な円高水準、株式市場の低迷に伴う企業収益への影響といったさまざまな景気下振れリスクが散在していることから、先行き不透明な状況が続いております。当社グループでは、引き続き、お客様である企業の活動動向を見極めながら、売上拡大、コスト削減、業務効率化とあわせて、ニーズにより適合したサービスの創出と提供に注力してま

いります。また、中国をはじめとしたアジア市場での営業を強化し、成長領域における事業基盤の強化に努めてまいります。

なお、2012年3月期の連結業績予想につきましては、震災に伴う電力供給不足に加え、急激な円高進行などにより、今後の企業活動の動向に与えるその影響が不透明な状況となっており、現段階では合理的に算定することが困難であるため、未定としております。今後、予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

株主・投資家の皆様へ

2012年3月期の配当金につきましては、中間期においては実施いたしません。期末配当については、現段階では業績予想が困難であるため、未定としております。今後、予想が可能になった段階で速やかに発表いたします。

引き続き、株主・投資家の皆様には、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。



2011年12月
代表取締役社長兼COO

奥田昌孝

SaaS型ソリューション 「コアメトリクス」提供開始

日本アイ・ビー・エム株式会社とオンライン・マーケティング分野で協業し、多様化、複雑化するオンライン・マーケティング分野で最適化と自動化を実現する同社のSaaS型ソリューション「コアメトリクス」を中心とした新しいソリューションを共同で提供。



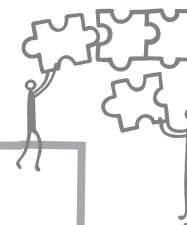
「グローバルアウトソーシング100」に 2年連続で選出

国際アウトソーシング専門家協会が発表した「2011グローバルアウトソーシング100」で世界第46位、中国・東南アジア・日本のリーダー部門でTOP10のアウトソーサーに選出。インダストリー部門では、リテール・消費財・IT関連・CRMで世界のベスト20に選出。



BPOセンターのインフラに 仮想化技術を導入

オフショアで日本語対応のコールセンターサービスとBPOサービスを提供する海外子会社のトランスコスモスタイルのインフラに、デスクトップ仮想化技術を導入。この仮想化技術導入により、情報漏えい防止、BCP対策とあわせて省電力化、コスト削減も推進。



2011

4月

5月

6月

7月

8月

9月

中国語VOC分析デスクサービスを強化

株式会社プラスアルファ・コンサルティングが開発・販売するSaaS型テキストマイニングツール「見える化エンジン」の中国語版を販売開始。すでに提供開始している中国語VOC (Voice of Customer = 顧客の声) 分析サービスと組み合わせることで、さらにお客様企業ごとのニーズにあわせたサービスを提供。



ソーシャルメディア マーケティング プラットフォーム提供の 米国Wildfire社と提携

15万件以上のキャンペーン実績をもつ米国Wildfire Interactive Inc.と提携し、FacebookやTwitter向けソーシャルメディアマーケティングプラットフォーム「Wildfire」を日本国内で提供開始。Facebook、Twitterなど企業のソーシャルメディアを活用したプロモーション・キャンペーンをトータルでサポート。



沖縄県「DTP・Web デザイン業務 人材育成事業」を受託

当社およびグループ会社ウェブ・ワークスは、沖縄県が実施する人材育成事業の「DTP・Webデザイン業務人材育成事業」を受託。沖縄県在住で、現在失業中の求職者を対象にスキル習得の研修を実施し、即戦力となる人材育成により、失業率改善、雇用創出に貢献。



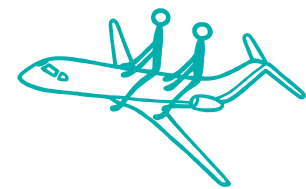
BtoC BtoC事業
Business to Consumer

産経新聞社との共同事業「産経デジタル」、フジテレビとの共同事業「ワッチミー！TV」、日本テレビとの共同事業「フォアキャスト」など日本の各分野のトップ企業とのコンソーシアムによるネットを使った事業を展開します。また、「meet-me」など、ブランド支援、チャンネル開発の場を提供する事業も展開します。

海外 グローバルサービス
Global Services



韓国・中国などアジアを中心とする各国で事業展開している企業に対して、現地向けのコールセンター、デジタルマーケティングサービスなどを提供します。また、海外のリソースを活用し、日本企業向けに日本語対応による高品質なビジネスプロセスアウトソーシングサービスを低コストで提供します。



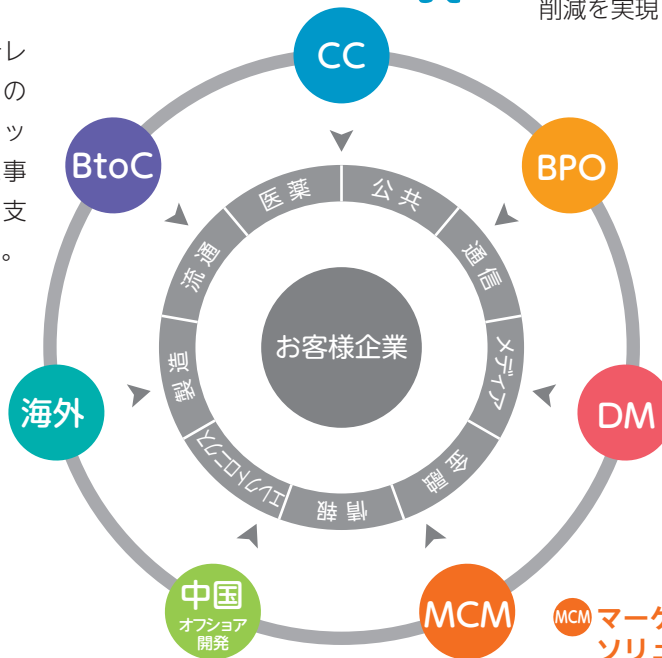
中国 中国オフショア開発サービス
Offshore System Developing Services

日本企業向けのソフトウェアや各種システムの開発・運用を中国で行うオフショア開発サービスを提供します。中国の拠点を通じて、システム開発、施設・人員・インフラなどさまざまな面でかかるコストの大幅削減を実現しつつ、日本国内と同等の品質と技術を提供します。



CC コールセンターサービス
Call Center Services

企業が提供する商品・サービスにおいて、顧客からのお問い合わせや苦情などに対して専門的に対応を行うコールセンター業務、申込書や伝票などの帳票の回収・入力・発行といったフルフィルメント業務のアウトソーシングサービスを提供します。



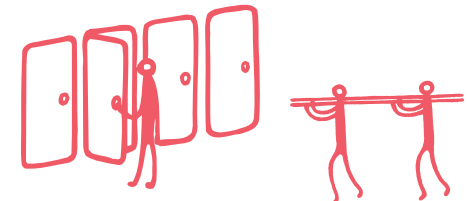
**BPO ビジネスプロセス
アウトソーシングサービス**
Business Process Outsourcing Services

企業のIT部門、業務部門、設計部門における業務のアウトソーシングサービスを提供します。企業はコア業務に経営資源を集中いただき、ノンコア業務を専門家である当社が一括で請負うことで業務効率化とコスト削減を実現し、企業の競争力強化を支援します。



DM デジタルマーケティングサービス
Digital Marketing Services

インターネット広告、Webサイト構築、モバイルなどのデジタルマーケティングサービスをワンストップで提供します。また、Facebook、Twitterなどソーシャルメディアやスマートフォン、タブレット端末などを活用したプロモーション活動を支援します。



**MCM マーケティングチェーンマネジメント
ソリューションサービス**

The Marketing Chain Management Solution Services

最先端テクノロジーを活用し、専門の分析アナリスト、オペレーターによる調査、分析、データマイニングなど企業のマーケティング活動を支援します。また、コールセンター事業、デジタルマーケティング事業を連携させ顧客の声を収集・分析し、企業と消費者のコミュニケーション活動を支援します。



連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当第2四半期連結 会計期間末 2011年9月30日現在	前連結 会計年度末 2011年3月31日現在
●資産の部		
流動資産	64,545	61,102
固定資産	27,333	29,031
資産合計	91,878	90,134
●負債の部		
流動負債	29,228	32,105
固定負債	16,791	13,618
負債合計	46,020	45,723
●純資産の部		
株主資本	44,948	43,943
その他の包括利益累計額	△ 2,818	△ 2,902
少数株主持分	3,729	3,369
純資産合計	45,858	44,410
負債純資産合計	91,878	90,134

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当第2四半期連結 累計期間 2011年4月1日から 2011年9月30日まで	前第2四半期連結 累計期間 2010年4月1日から 2010年9月30日まで
①売上高	79,030	74,350
売上原価	64,630	61,269
売上総利益	14,400	13,081
販売費及び一般管理費	10,256	10,656
②営業利益	4,143	2,425
経常利益	4,070	2,481
③四半期純利益	2,363	2,526

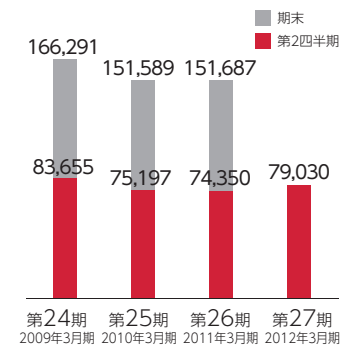
連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	当第2四半期連結 累計期間 2011年4月1日から 2011年9月30日まで	前第2四半期連結 累計期間 2010年4月1日から 2010年9月30日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	4,222	6,284
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 914	759
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 1,891	1,346
現金及び現金同等物 の四半期末残高	32,708	35,803

■ 売上高

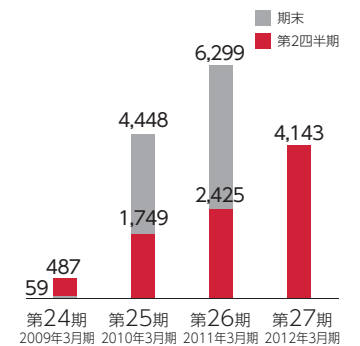
(単位:百万円)



① 売上高
当社グループの主力事業である単体サービスの受注が堅調に推移し、また韓国・中国を中心とした海外でのサービス需要が拡大するなど、連結売上高は、前年同期比で6.3%の増収となりました。

■ 営業利益

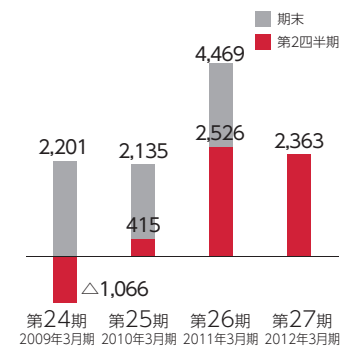
(単位:百万円)



② 営業利益
売上高の増加に加え、単体サービスを中心とした売上総利益率の改善、販売費及び一般管理費の削減などにより、前年同期比で70.8%の増益となりました。

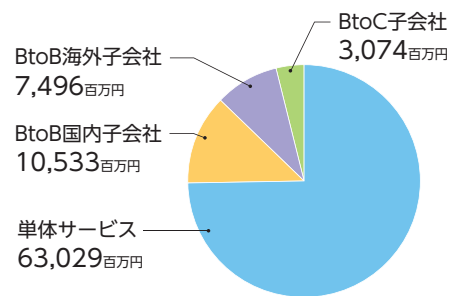
■ 四半期(当期)純利益

(単位:百万円)



③ 四半期純利益
前年同期に計上していた投資有価証券売却益等の減少や税金費用の増加などにより、連結四半期純利益は、前年同期比で6.4%の減益となりました。

■ セグメント別売上高 (第2四半期累計(連結))



注)セグメント間取引消去等5,103百万円は含まず

■ 単体サービス

当社のコールセンターサービスなどを中心としたワンストップのアウトソーシングサービス事業

■ BtoB国内子会社

国内で法人向けビジネスを展開するグループ会社事業

■ BtoB海外子会社

海外で法人向けビジネスを展開するグループ会社事業

■ BtoC子会社

国内の消費者向けインターネットメディアビジネスを展開するグループ会社事業

東日本大震災の影響

2011年3月11日に発生した東日本大震災により、仙台センターが一時業務を停止しました。発生当時は、およそ1,000人の社員が稼働しており、一時はすべてのライフラインが停止するなど被害がありましたが、全社員の無事が確認でき、2週間後には業務を一部再開し、5月にはほぼ震災前の状況にまで復旧することができました。

この震災における業績への影響は軽微だったものの、今回のような大きな災害時に柔軟に振り替え、受け入れが図れるセンターの分散配置や、効率を鑑みた集中方式とのバランスをとりながらBCP(事業継続計画)を含め、危機

管理体制を強化してまいります。震災後には自治体に電話受付ボランティアを派遣し、対応マニュアル化やFAQの共有などコールセンター業務としてのノウハウとサービスマインドに高い評価をいただきました。このことで各自治体からの受注も増えており、ビジネスの側面から震災復興に貢献しております。

陸上自衛隊より感謝状をいただきました

当社社員が本震災における「即応予備自衛官」として招集され、被災地での救助活動にあたりました。従業員が災害派遣に協力した企業として、陸上幕僚長から感謝状をいただきました。



感謝状

株主優待制度のご案内

毎年3月末に当社株式を1,000株以上保有されている株主様を対象に、株主優待ポイントとして一律1,000ポイントを贈呈し、当社センター所在の11地域から厳選した「日本全国こだわりの味」や、「社会貢献活動の寄付」に交換いただいております。また、2012年3月期は「がんばろう 東北!」と題した東北地方の特産品を盛り込んだ優待品や、日本赤十字社を通じて東日本大震災の義援金としてご寄付いただける優待品も加え、多くの株主様からお申し込みいただきました。



2012年3月期の優待品申込は終了させていただきました。次年度優待カタログの送付は2012年6月上旬を予定しております。



よき企業市民として ~ CSR活動の取り組み ~

当社が経済・社会の発展に貢献し、責任ある企業活動を行い社会的責任(CSR)を果たしていくことは、ステークホルダーの皆様へ信頼され、社会的価値創造を実現し続ける、全員参加の当社の企業活動そのものです。ここでは、事業プロセスの一環として展開する事例をご紹介します。

● ダイバーシティ推進活動

当社特例子会社のトランスコスモス・アシスト[®]が「障害者雇用職場改善好事例」優秀賞を受賞

トランスコスモス・アシストは、(独)高齢・障害者雇用支援機構が主催(厚生労働省後援)する「障害者雇用職場改善好事例」優秀賞を受賞しました。社員ごとの業務スキルレベルや対応状況を客観的に把握し、適切な指示をすることで業務スキル・範囲を拡大、精度向上が図られ、親会社、子会社双方での良い仕組みがつけられている点が評価されました。



※トランスコスモス・アシストは、2005年4月にトランスコスモスの特例子会社として、障がい者の雇用促進を目的として設立されました。自閉症・発達障がい者を含めた知的障がい者を積極的に雇用し、障がい者とその持っている力を十分に発揮できる適切な就労の場を創造、積極的な社会参加を支援するとともに、社員の可能性を大切に育てる環境づくり(共働)に取り組んでいます。

● 環境活動

当社は事業活動を通じて、経済・社会の発展と地球環境との調和を目指す循環型社会の実現に貢献しております。また、グローバル企業として、環境マネジメントシステムの国際規格「ISO14001」を渋谷本社および大阪本部で取得し、継続的改善に取り組んでいます。

主な取り組み

- 組織ごとの環境目標の設定:各組織で環境目標を立て、PDCAによる目標達成を目指しております。
- エコオフィスの推進:今夏においては渋谷本社で昨年ピーク時に比べ25%の電気使用量の削減を達成するほか、従来からゴミの分別など、さまざまなエコ活動に取り組んでいます。
- 紙使用量の管理:個人別ログ管理機能付き複合機による出力管理で、セキュリティとペーパーレス化を推進しております。
- 事業活動を通じた環境改善:人と情報技術(IT)をベースに業務効率化など、環境に配慮した業務プロセスの設計と運用を実現できるサービス提供、お客様企業の環境活動への協力など、事業活動を通して環境保全に取り組んでいます。
- 従業員教育:eラーニングの活用、社内報による啓蒙活動を行い、一人ひとりの環境改善意識を高めています。

会社概要 (2011年9月30日現在)

会社名	トランスコスモス株式会社
(商号)	(トランス・コスモス株式会社) (transcosmos inc.)
設立年月日	1985年6月18日 (登記上 1978年11月30日)
資本金	290億6,596万円
従業員数	本体:8,253名 グループ:15,590名
主要取引銀行	三井住友銀行、みずほコーポレート銀行、 三菱東京UFJ銀行

株式の状況 (2011年9月30日現在)

発行可能株式総数	150,000,000株
発行済株式の総数	48,794,046株
株主数	23,665名

拠点 (2011年9月30日現在)

本社	東京都渋谷区渋谷3-25-18 〒150-8530 TEL.03-4363-1111 (大代表) FAX.03-4363-0111
大阪本部	大阪府大阪市北区梅田3-3-20 明治安田生命大阪梅田ビル 〒530-0001 TEL.06-6457-1600 (代表) FAX.06-6457-1601
国内拠点	札幌・仙台・横浜・名古屋・和歌山・福岡・熊本・ 宮崎・沖縄
海外拠点	北米(ニューヨーク・ロサンゼルス) 韓国(ソウル・プサン) 中国(北京・上海・天津・大連・青島・広州・ 蘇州・無錫・瀋陽・本溪・深圳) シンガポール タイ(バンコク)

大株主の状況 (2011年9月30日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
奥田 耕己	7,498	15.37
奥田 昌孝	5,910	12.11
平井 美穂子	2,185	4.48
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,056	4.21
公益財団法人奥田育英会	1,753	3.59
THE BANK OF NEW YORK - JASDECTREATY ACCOUNT	802	1.64
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	659	1.35
トランス・コスモス社員持株会	569	1.17
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505103	459	0.94
RBC DEXIA INVESTOR SERVICE TRUST, LONDON - LENDING ACCOUNT	299	0.61

注) 1. 上記のほか、当社が自己株式7,649千株を保有しています。
2. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しています。
3. 持株比率は、小数点第三位を四捨五入により表示しています。

役員構成 (2011年9月30日現在)

代表取締役グループCEOファウンダー	奥田 耕己
代表取締役会長兼CEO	船津 康次
代表取締役社長兼COO	奥田 昌孝
専務取締役	石見 浩一
上席常務取締役	向井 宏之 森山 雅勝 永倉 辰一
社外取締役	夏野 剛※ 瀧浪 壽太郎※ 吉田 望※
常勤監査役	石岡 英明
監査役	高尾 吉郎 渡邊 和志※ 中村 敏明※
常務執行役員	下總 邦雄 貝塚 洋 牟田 正明 中山 国慶 河野 洋一 高野 雅年 本田 仁志
執行役員	野々村 正仁 多田 真之 早見 泰弘 山喜 和彦 梅村 和広 清水 一洋

※独立役員として東京証券取引所に届出しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 (中間配当金 毎年9月30日) その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
単元株式数	100株
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都中央区八重洲二丁目3番1号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	東京都府中市日鋼町1番10 〒183-8701 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎0120-176-417
(インターネットホームページURL)	http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	当社のホームページに掲載する。 http://www.trans-cosmos.co.jp

※ただし、電子公告による公告をすることができない事故、その他やむを得ない事由が生じた場合には、日本経済新聞に掲載いたします。

※株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関である住友信託銀行株式会社は、2012年4月1日付けで商号を「三井住友信託銀行株式会社」に変更する予定です。郵便物送付先の住所および電話照会先の電話番号に変更はございません。

●ご注意

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることになっています。口座を開設されている証券会社などにお問い合わせください。株主名簿管理人(住友信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記載された株式に関する各種お手続きにつきましては、住友信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記電話照会先にお問い合わせください。なお、住友信託銀行全国本支店にでもお取次ぎいたします。
- 支払開始日から満3年未満の未受領の配当金につきましては、住友信託銀行全国本支店でお支払いいたします。